



3月8日（木）は 世界腎臓病デーです

■問い合わせ：保健センター ☎ 64・1039

新たな国民病、慢性腎臓病とは？

腎臓の機能低下や障害が徐々に進む「慢性腎臓病（CKD）」。腎臓の機能は、一度失われてしまうと元に戻ることは難しく、放置すると腎臓がほとんど機能しなくなる腎不全に陥り、人工透析や腎移植が必要になります。「成人の8人に1人は慢性腎臓病」という推計があるほど日本では慢性腎臓病の潜在患者が多く、新たな国民病ともいわれています。

糖尿病や高血圧・肥満がある方のほか、家族に腎臓病患者がいる場合でも慢性腎臓病のリスクは高まります。早期の自覚症状がほとんどないため、不調に気付いた時にはかなり症状が進んでいることが多くあります。今回は世界腎臓病デーに合わせて、腎臓専門医による講演会を開催します。

ヘルス講演会

「慢性腎臓病と検査値の見方について」

予約不要。併せて、血管年齢測定と予約制の健康相談を行います。詳細はお問い合わせください。

▼日時：3月8日（木）

午後1時30分～3時

▼場所：文化会館・小ホール

▼講師：セントラル腎クリニック 龍ヶ崎・石津隆院長
▼その他：血管年齢測定Ⅱ先着50人・整理券を当日配布／保健師・栄養士による腎臓に関する健康相談Ⅱ

10人・保健センターへ事前に電話予約



お子さんの予防接種はお済みですか？

■問い合わせ：保健センター ☎ 64-1039

麻しん風しん混合予防接種

1歳になったらすぐに（第1期）
年長さんのうちに（第2期）

●対象者

- ▶1歳児（第1期）：生後12カ月以上24カ月未満の方
- ▶年長児（第2期）：平成23年4月2日～24年4月1日生まれの方（30年4月に年長児になる方には3月に通知を郵送）

第2期は接種期限があり、30年3月31日までは無料で接種できますが、期限を過ぎてしまうと全額自己負担（約10,000円程度）での任意接種になります。

二種混合（ジフテリア・破傷風）予防接種

●対象者

- ▶小学6年生（第2期）：平成17年4月2日～18年4月1日生まれの方

標準的な接種期間は小学6年生ですが、13歳の誕生日の前日まで接種可能です。期限を過ぎてしまうと全額自己負担（約6,000円程度）での任意接種になります。

日本脳炎予防接種（特例対象者）

- 対象者：平成7年4月2日～19年4月1日生まれで20歳未満の方

第1期3回接種・第2期1回接種の計4回が未接種の場合、20歳の誕生日の前日まで未接種分を無料で接種できます。母子健康手帳を持参し、保健センター窓口にお越しください。

- 対象者：平成19年4月2日～21年10月1日生まれの方

9歳～13歳の誕生日の前日までに、無料で計4回接種することができます。9歳の誕生日ごろに個人通知を郵送します。必ず9歳になってからお受けください。不足分の予診票は、母子健康手帳を持参し保健センター窓口へお越しください。

水痘（みずぼうそう）予防接種

- 対象者：1歳～3歳の誕生日前日までの方

3歳の誕生日前日までに2回接種が必要です。1回目と2回目の間隔は3カ月以上空けてください。対象者には乳児期に予診票を送付しています。

予防接種はどうやって受けるの？

- ★保健センター年間予定表に掲載の委託医療機関に予約の上、予診票・母子健康手帳を持参し、接種してください。**対象期間内にお受けいただければ無料**です。
- ★予診票をなくした場合は再交付しますので、母子健康手帳を持参し保健センターへお越しください。